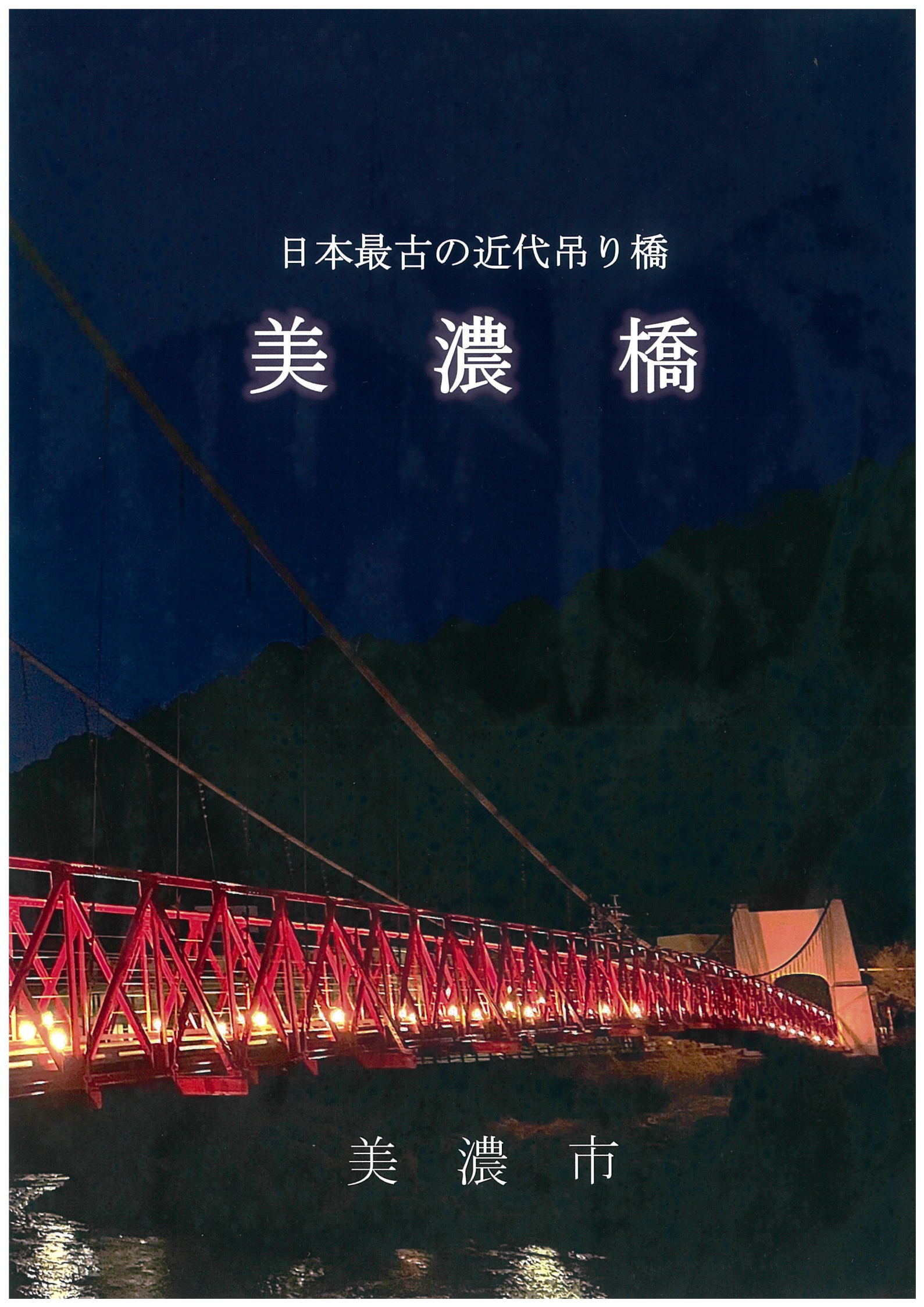


日本最古の近代吊り橋

# 美濃橋

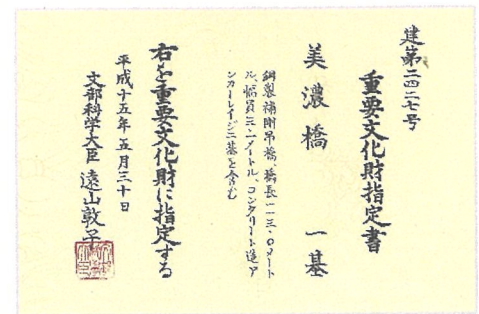
美濃市



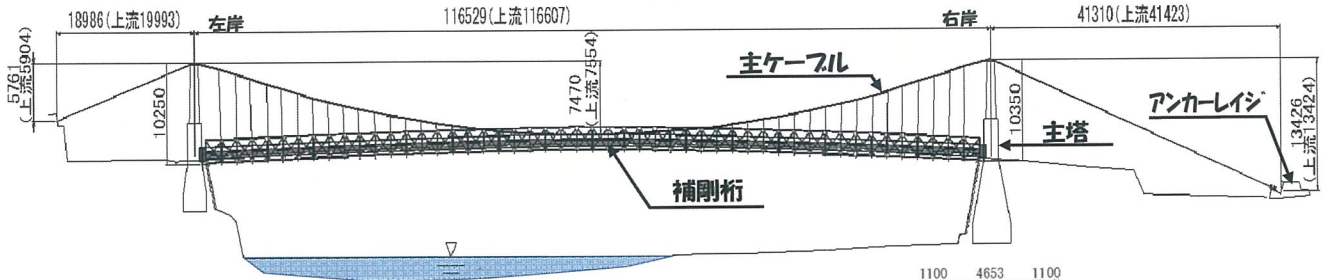
## 【美濃橋の概要】

- 橋長 L=113m (支間長 L=116m)
- 幅員 W=3.1m (歩道橋)
- 形式 単径間補剛吊橋 (剛性補剛桁)

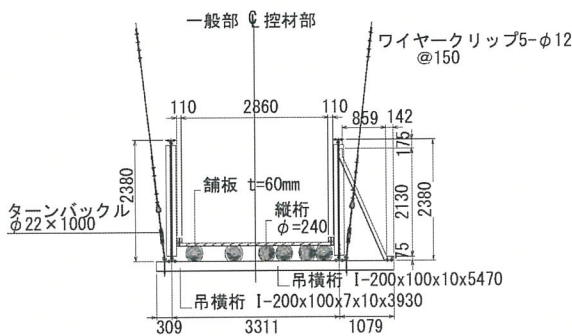
## 【美濃橋の諸元】



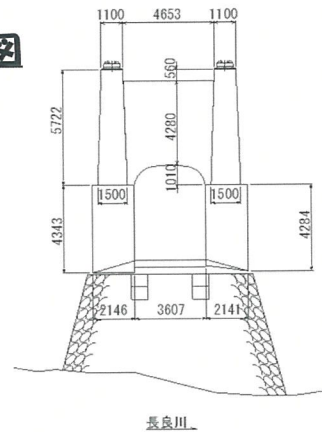
側面図



上部工断面図



主塔正面図



## 【橋の特徴】

- ・ 現存する国内最古の近代吊橋であり、橋梁建設史上価値が高く、近代吊り橋の要素を構造躯体に備えた、大正時代を代表する吊り橋として国の重要文化財に指定されています。また、土木学会からは土木遺産に認定されています。
- ・ 橋長は113m、支間長116m、幅員3.1mの単径間補剛吊桁で、主塔の高さは9.8mの鉄筋コンクリート造、両岸に据えられたアンカーレイジから主塔頭頂部の滑動支承を通り、主ケーブルが配置されています。
- ・ 左岸アンカーレイジは小倉山裾部の岩盤に主ケーブルを定着し、右岸アンカーレイジは玉石積みのコンクリート構造物で、主ケーブルの引張調整ソケットが前面に接続しています。
- ・ 補剛桁は、L形鋼材を鉋留するダブルワーレントラスで、床板は丸太材の基礎台座の上に木製平板を設置しています。

## 【整備効果】

- ・ 美濃市のランドマークとして観光産業に寄与します。  
夜間のライトアップを行い滞在型観光の新たなスポットになります。  
美濃橋は、周辺の「道の駅 美濃にわか茶屋」「川湊灯台」「旧牧谷街道」「うだつの上がる町並み」など観光ルートの一翼を担います。
- ・ 新たな100年に向けて交通インフラを支えます。
- ・ 前野地区からの美濃小学校、中学校への安全な通学が図れます。



## 【令和の大改修】

- ・過去の補修は、床材交換や塗装など部分的な補修しか実施してきませんでした。
- ・今回の大改修では、架橋から100年以上が経過し経年劣化や損傷が激しい主要部材のアンカーレイジ(主ケーブルを固定する部材)や鋼製補剛桁の鋼材補強、更に鉄筋コンクリート(RC)製の主塔の耐震補強などを実施しました。
- ・補修・補強は、「美濃橋修復・活用検討委員会」の協議や提案に基づき、現地で1つひとつ確認し丁寧に作業を進めていきました。
- ・特にアンカーレイジの補強は、他に類を見ない工事であり、劣化したケーブルにかかる<sup>ちから</sup>の一部を補強部材で受けかえるなど、建設当時の状態を残す手法で実施し、専門誌にも紹介されました。
- ・鋼製補剛桁は、劣化により鋼材が腐食し穴が開きボロボロの状態から、できる限り当時の部材を残した補強や部材の接合に架橋時の工法(リベット)を採用するなど工夫しています。
- ・主塔の耐震補強においては、既設の石積を当時のまま再現するため、石材に付番し再現するなどの工夫もしています。

【アンカーレイジ】



【主塔・サドル】



【補剛桁】



## 【橋の補修履歴】

- |           |           |            |               |
|-----------|-----------|------------|---------------|
| ・大正5年8月   | 美濃橋 竣工    | ・平成9 ~ 11年 | 【床材】全面取替      |
| ・昭和8~30年頃 | 【補剛桁】柵設置  | ・平成13年11月  | 土木遺産認定        |
| ・昭和46~    | 【補剛桁】塗装   | ・平成15年 5月  | 重要文化財指定       |
| 49年頃      | (銀→青)     | ・平成22~23年  | 【床材】全面取替      |
| ・昭和50年5月  | 【吊柵】取替    | ・平成24~     | 【アンカーレイジ・補剛桁】 |
|           | 【主索・吊柵】油塗 | 令和2年       | 補強・補修         |
| ・昭和58年8月  | 【床材】全面取替  |            | 【主塔】耐震補強      |
|           | 【補剛桁】塗装   |            |               |
|           | (青→赤)     |            |               |
| ・昭和59年頃   | 【主塔】塗装(白) |            |               |

【銘板】

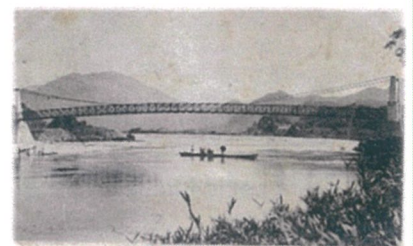


【合番】



## 【豆知識】

- ・美濃橋が架橋される以前は、牧谷方面と上有地を結ぶ唯一の交通路として下流約20mの地点に「前野の渡し」がありました。
- ・大正4年8月に岐阜県の事業として起工し、大正5年8月に竣工しました(現在の橋年齢は104才)。  
架設場所は、長良川の川幅が最も狭く、小倉山裾部の岩盤が迫出す場所が選ばれました。



しほのた

美濃市役所

〒501-3792 岐阜県美濃市1350

TEL:0575-33-1122 FAX:0575-31-0052

URL:<http://www.city.mino.gifu.jp>

夜の美濃橋  
(ライトアップ状況)